

人口総数	75,474	世帯数	23,292
男	36,332		
女	39,142	面積	17.31km ²

市民の協同の力で造りあげる

住みよい都市に

52年度の芦屋市政

昭和五十二年度は、昨年度に引き続き、①安定した生活の確保、②人間尊重の人づくり、③住みよい環境づくり、④都市機能の整備、⑤行財政健全化の推進、の五つを市政の柱としています。

人間主体の新しい福祉社会をつくりだすためには、市民の生活意識に応じて、市民の日常生活と結びついたところから始めていかなければなりません。また市民のみならず、「自主自立と連帯」の意識にもとづいて、社会の格差や不平等に目を開き、「行政としていまなにをなすべきか」、「市民としてなにができるか」を考え合える社会をさずいていかなければならないと思います。

新年度の予算は、総額二百三十六億七千八百九十二万八千円（第四面に関連記事）で、これは、三月二十九日に開かれた第二回定例市議会本会議で可決、成立しました。この貴重な予算を使って、行政の見直しを徹底しながら、「市民の協同の力で造りあげる住みよい都市芦屋」の実現のために総力を傾けていきます。



人間尊重の人づくり

●仮称山手第二小学校の建設をこのほど着工しました。現在の山手小学校の過密解消のため、芦屋川以西を校区として新設します。隣の中学校敷地の一部と交換したり、土地所有者のご協力で得た約一万一千平方メートルの山林斜面を、その地形的な特徴を生かしてひな壇式に校舎を配列するなど工夫をこらしました。そのため

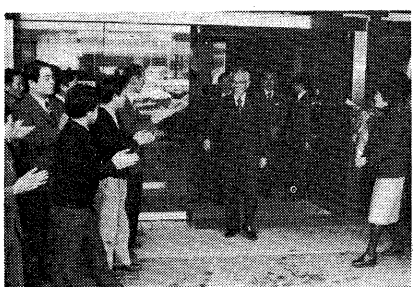
されるものと確信いたしております。私も微力ではございますが、市民の一人として市の発展のために尽くしたいと存じますので、今後ともみなさまの変わらぬご交誼を賜りますようお願い申し上げます。

退任のごあいさつ

前助役 林利市

私は一月十六日をもって助役の任期が満了となり、退任いたしました。その後、各部長への事務の引き継ぎなどで日時を要しましたが、二月二十六日に退任式がありましたのを機会に、たいへん遅くはなりましたが紙上を通してごあいさつを申し上げます。

現在、行政の基盤である財政事情は極度に悪く、芦屋市もいま、これに起因する幾多の課題をかかえています。昭和二十九年ごろ、同様の財政危機の時期があったことを記憶のかたもあろうと存じますが、市をあげての努力と市民のみなさまのご協力によりまして、見事に立ち直った経験がありますので、今回も必ずや立派に健全化が達成



二月二十六日に最後の退任

開校時にはまず一、四年生までの児童十二名級、五百四十人を収容するために五十五年四月までに二階建て校舎三棟を増築、全学年十八名級、八百人の規模にする予定です。さらに、体育館やプールなどを集中させて配置されているのは、将来、地域住民に施設を自主的に利用してもらい、コミュニティ・スクール構想を実現するためです。

●コミュニティ・スクール構想を進めていきます。これは、「自主・自立と連帯」の意識の輪を市民の中に広げることによって、「自分たちのまちは、自分たちで造りあげる」ということが期待されるからであります。その特徴は①行政は活動の場を提供するが、運営は住民自らの手で行なうこと、②小学校区を単位地域と考へ、小学校をその地域の「核」として、従来のようにとざされた学校ではなく、住民の中にも「われらの学校」という意識をよみがえらせる。

●下水道整備七か年計画は、最終年度にあたり、予定どおり順調に進んでいます。●下水処理場では、汚泥処理施設の完成を予定しておりこれで全施設が完成することになります。●朝日ヶ丘町と山手、岩園町の北部に管渠を布設します。（下水道事業）●稲荷山線道路は、国道43号線から防潮堤線までの残工事を整備します。

都市機能の整備

●防潮堤線は、埋立地内の芦屋浜線と接合する箇所から西側の工事に着工します。（街路事業）●芦屋浜の高層住宅の建設は、五十一年一月着工以来順調に進んでいます。これに伴う電波障害、建設公害などの対策には、強力に行政指導をしていきます。また高層住宅以外の住宅開発にも積極的に市の意向を反映させます。

●国鉄芦屋駅周辺環境再開発事業は、地元住民と検討を重ねながら測量、調査を進めます。

住みよい環境づくり

●国道43号線、阪神高速道路の自動車公害につきましては、車線削減によるグリーンベルトの設置、夜間の車線制限、速度制限の強化などの対策がようやく実施されつつあります。さらに基本的な対策として自動車交通総量を抑制することが必要です。引き続き国、県に対して根強く要望していきます。（公害対策）

●交通安全施設整備五か年計画の二年目として、本年度は約千二百メートルの歩道設置を予定しています。また防護柵設置、公設灯の新設、改修、身体の不自由な方がたのため主要道路の歩道段差切下げ工事なども引き続き行ないます。（安全対策）

●新しい清掃工場は、本年七月に供用開始の見通しです。●芦屋浜埋立地のごみ処理システム、廃棄物運搬用パイプラインの布設工事は、今年一月から着工しました。（ごみ処理とその近代化）

●奥池周辺の自然公園は、県事業として昨年度に引き続き行われますので、地元市として協力をさせていただきます。

●埋立地内の地区公園については基本計画を策定していきます。（公園の整備）

行財政健全化の推進

これに対処するために、行財政の見直しを徹底して行ないます。●行財政健全化計画（四か年計画）は、三年目に入ります。市民福祉の充実をいっそう図りながら、収入の確保と国等への負担の適正化を強く要請します。

●学識経験者による「都市構造研究会」に、行政サービスの範囲、行政組織のあり方などの調査研究をお願いいたします。

安定した生活の確保

●老人の健康増進に定評のあるヘルストロン（理学診療用電界装置）を備えるなど老人福祉会館の充実と効率的な運用をはかります。（老人福祉）

●国鉄以北に保育所を設置するよう準備を進めています。（児童福祉）●救急急患医療体制は、初期診療ができるようになっていますが、さらに入院や専門的医療処置を必要とする高度な救急体制につきま

福祉行政 同和対策

●救急急患医療体制は、初期診療ができるようになっていますが、さらに入院や専門的医療処置を必要とする高度な救急体制につきま

●救急急患医療体制は、初期診療ができるようになっていますが、さらに入院や専門的医療処置を必要とする高度な救急体制につきま

市民のくらしと行財政

前回は、困窮からの補助金制度にまつわる超過負担の状況を具体的にみましたが、今回は市債の現状について考えてみる。

市債の発行は、地方債（地方債）の現況と問題点について考えてみる。

市債の発行は、地方債（地方債）の現況と問題点について考えてみる。

借金の状況と地方債制度

地方債の発行は、地方債（地方債）の現況と問題点について考えてみる。

地方債の発行は、地方債（地方債）の現況と問題点について考えてみる。

地方債の発行は、地方債（地方債）の現況と問題点について考えてみる。

年度	借入額（百万円）
50年度	4,802
49年度	3,344
48年度	2,818
47年度	2,017
46年度	1,267

年度	返済額（百万円）
50年度	11.0
49年度	10.1
48年度	11.1
47年度	4.8
46年度	2.4

年度	償還率（%）
50年度	28.8%
49年度	30.5%
48年度	38.7%
47年度	24.2%
46年度	18.9%

生活と教育と訓練と

生活と教育と訓練と

地域住民とのふれあいのなかで

生涯が教育と訓練

生涯が教育と訓練というテーマは、地域住民とのふれあいのなかで、教育と訓練の重要性を説く。

住宅つき生涯学級

重症し体不自由児

住宅つき生涯学級は、重症し体不自由児に対する教育の場を提供する。

生涯が教育と訓練

生涯が教育と訓練というテーマは、地域住民とのふれあいのなかで、教育と訓練の重要性を説く。

住宅つき生涯学級

住宅つき生涯学級は、重症し体不自由児に対する教育の場を提供する。



設置は埋立地東部と同時に

住宅つき生涯学級の設置は、埋立地東部の同時進行を目指す。

市県民税

みなさんのお問合せから

市県民税に関するお問い合わせ先と対応内容。

交通事故で死亡されたかたに弔慰金

交通事故で死亡された方への弔慰金申請に関する案内。

国保・年金のお知らせ

国民健康保険と国民年金に関する最新のお知らせ。

生活と教育と訓練と

PTA役員改選期

PTA役員改選期に関する記事の冒頭部分。

PTA役員改選期に関する記事の続き部分。

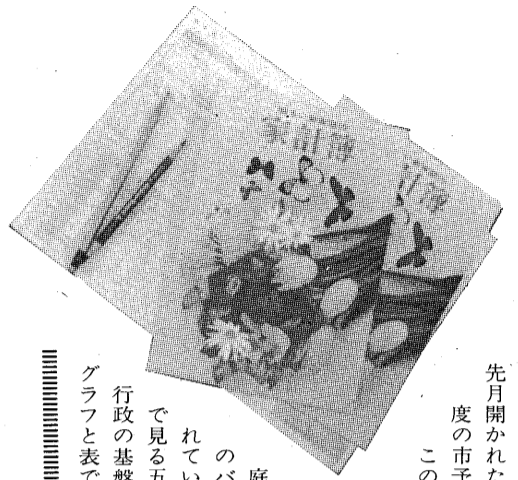
ご存知ですか 検察審査会制度

検察審査会制度に関する説明と手続きの流れ。

23578928000

昭和52年度 市予算成立

一般会計 138億5,000万円 特別会計 60億9,850万円 企業会計 37億3,043万円

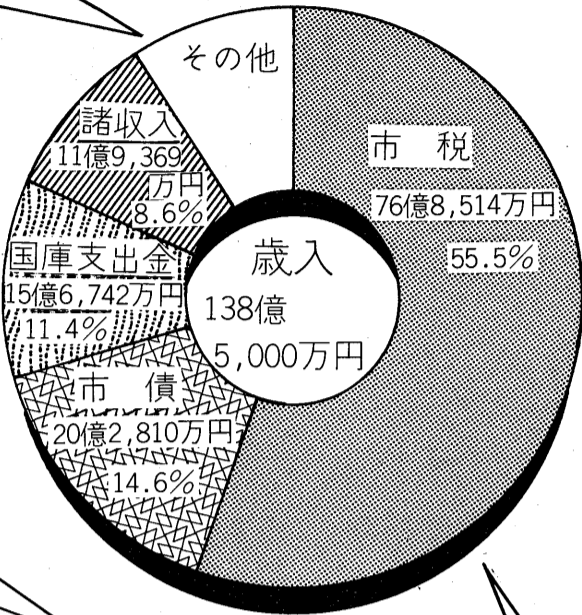


先月開かれた第二回定例市議会で、昭和五十二年の市予算が原案どおり可決されました。この予算というのは、歳入と歳出のバランスをはかりながら、最少の経費で最大の効果をあげるためにまとめ、向こう一年間の歳入と歳出の「見積り」であり、ちょうど家庭に「家計簿」があつて、収入・支出のバランスをはかりながら家計を維持されていくのと同様です。このページでは、「目で見る五十二年度予算」としてすべての市行政の基礎となる昭和五十二年度市予算を、グラフと表でご紹介しましょう。

一般会計

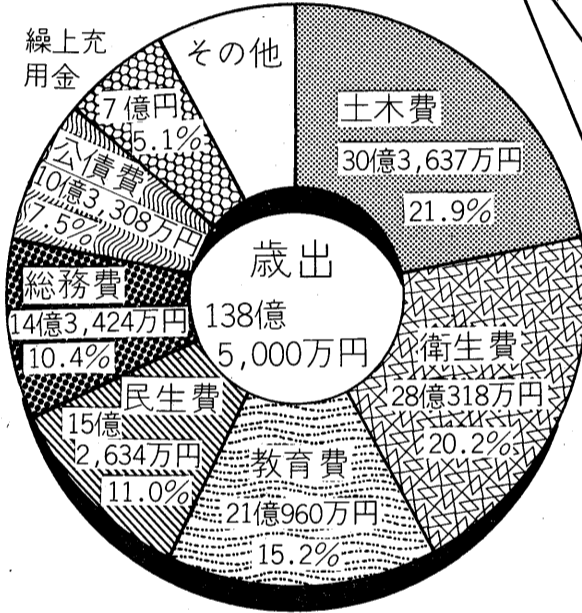
その他の内訳

県支出金	4億 258万円	3.0%
繰入金	2億3,685万円	1.7%
使用料及び手数料	2億3,323万円	1.7%
寄付金	1億4,250万円	1.0%
財産収入	1億 988万円	0.8%
自動車取得税交付金	7,550万円	0.5%
地方譲与税	7,070万円	0.5%
分担金及び負担金	4,518万円	0.3%
地方交付税	3,000万円	0.2%
交通安全対策特別交付金	2,000万円	0.1%
娯楽施設利用税交付金	922万円	—



その他の内訳

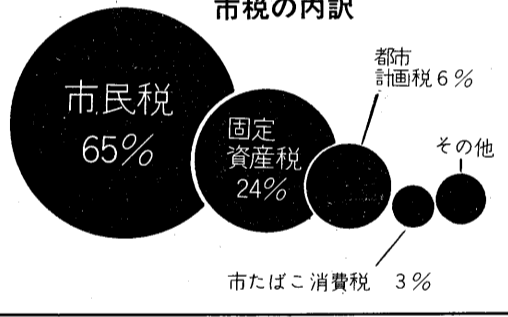
諸支出金	4億 777万円	3.0%
消防費	2億9,702万円	2.1%
議会費	2億 881万円	1.5%
商工費	1億2,057万円	0.9%
労働費	1億1,598万円	0.8%
予備費	4,200万円	0.3%
農林水産業費	1,406万円	0.1%
災害復旧費	100万円	—



市民1人当たりで見る52年度予算

- ▶土木費 (道路・橋など建設事業に) 40,195円
- ▶衛生費 (ごみ収集や保健・衛生に) 37,109円
- ▶教育費 (学校教育、社会教育に) 27,927円
- ▶民生費 (保育所や福祉事業などに) 20,206円
- ▶総務費 (広報あしやの発行などに) 18,986円

市税の内訳



八つの講座・教室を開設

公民館春の講座

にご参加
ください

- 対象：市内在住の在学成人
- 会場：市民センター
- 申込み：4月13日(水)午前10時から市民センターで。またはハガキ(住所・氏名・年齢・電話番号・希望講座名)を市民センター教育事業係(業平町8-24 ☎④4995)まで。
- 講座内容：①名曲ア・ラ・カルトレコードコンサートでだんらんを。▽定員60人▽日程：毎月第3金曜日午後6時30分(10回)▽会場：音楽室▽参加費：500円▽解説：内崎以佐味氏(音楽評論家)▽開講日：4月22日(金)「花にちなんだ曲特集」。
- ②自然科学講座「私たちのくらしと自然」▽定員50人▽日程：5月12日以降毎週木曜日午後2時〜4時(5回)▽受講料：300円▽講師：日本モンキーセンター所長 宮地伝三郎氏ほか。
- ③時事講座「アジアを考える基礎知識」▽アジアの宗教と文化を視点として▽定員50人▽日程：毎月第3水曜日午後2時〜4時(10回)▽受講料：500円▽講座：4月20日「王朝と仏教の国タイの僧院生活から」(仮題)大阪大学助教授 青木保氏。
- ④市民講座▽定員50人▽日程：毎月第4月曜日午後2時〜4時(10回)▽受講料：無料500円▽講座：4月25日「200カインリ時代と日本人の食生活」朝日新聞社事業開発室幹事 吉本光一氏。
- ⑤暮らしを楽しくする版画教室▽定員25人▽日程：4月28日以降
- 5月12日以降毎週木曜日午後2時〜4時(5回)▽受講料：300円▽講師：日本モンキーセンター所長 宮地伝三郎氏ほか。
- ⑥文化伝統講座「手づくりの暮らし」▽定員50人▽日程：5月14日以降毎週土曜日午前10時〜11時30分(6回)▽受講料：500円▽講師：甲南大学教授 和田邦平氏ほか。
- ⑦福祉講座「ボランティア活動の糧として」▽定員50人▽日程：5月9日から4回(午後2時〜4時)▽受講料：300円▽講師：精華短大教授 野上芳彦氏、同志社大学教授 小倉義二氏。
- ⑧おかあさんのための育児教室▽定員40人▽日程：5月13日、11月11日の2回(午前10時〜11時30分)▽受講料：1500円(託児保険料別)▽託児対象：昭和48年4月2日より49年4月1日生まれの幼児30人▽講師：追手門学院大学教授 中村秀氏ほか▽なお、この講座に限り、ハガキでの申込み受付はやっておりません。

図書館の電話が変わりました

4月1日から
市立図書館の新しい電話番号は
フミワイチバン
③2301(代)です。

本に関する事ならどんなことでもお気軽にお問合せください。

スポーツグループ 参加者を募集

お問合せは市立体育館(☎⑧228)へ。

【弓道協会】対象は市内在住・在勤・在学の婦人と老人。毎週木曜日午前九時三十分〜正午、市立体育館弓道場で活動。会費は一月四百円。お申し込みは、四月十一日〜二十日の午後五時三十分から市立体育館受付または会場で。

【少年剣道】対象は市内在住・在学の小学校二・三年生。毎週月曜日午後三時〜五時と毎週金曜日午後三時〜四時、市立体育館剣道場で活動。会費は四月分四千円。お申し込みは、四月十八日午後三時から会場。先着三十人まで。

図書館の電話が変わりました

4月1日から
市立図書館の新しい電話番号は
フミワイチバン
③2301(代)です。

本に関する事ならどんなことでもお気軽にお問合せください。

スポーツグループ 参加者を募集

お問合せは市立体育館(☎⑧228)へ。

【弓道協会】対象は市内在住・在勤・在学の婦人と老人。毎週木曜日午前九時三十分〜正午、市立体育館弓道場で活動。会費は一月四百円。お申し込みは、四月十一日〜二十日の午後五時三十分から市立体育館受付または会場で。

【少年剣道】対象は市内在住・在学の小学校二・三年生。毎週月曜日午後三時〜五時と毎週金曜日午後三時〜四時、市立体育館剣道場で活動。会費は四月分四千円。お申し込みは、四月十八日午後三時から会場。先着三十人まで。

公民館春の講座

にご参加
ください

- 対象：市内在住の在学成人
- 会場：市民センター
- 申込み：4月13日(水)午前10時から市民センターで。またはハガキ(住所・氏名・年齢・電話番号・希望講座名)を市民センター教育事業係(業平町8-24 ☎④4995)まで。
- 講座内容：①名曲ア・ラ・カルトレコードコンサートでだんらんを。▽定員60人▽日程：毎月第3金曜日午後6時30分(10回)▽会場：音楽室▽参加費：500円▽解説：内崎以佐味氏(音楽評論家)▽開講日：4月22日(金)「花にちなんだ曲特集」。
- ②自然科学講座「私たちのくらしと自然」▽定員50人▽日程：5月12日以降毎週木曜日午後2時〜4時(5回)▽受講料：300円▽講師：日本モンキーセンター所長 宮地伝三郎氏ほか。
- ③時事講座「アジアを考える基礎知識」▽アジアの宗教と文化を視点として▽定員50人▽日程：毎月第3水曜日午後2時〜4時(10回)▽受講料：500円▽講座：4月20日「王朝と仏教の国タイの僧院生活から」(仮題)大阪大学助教授 青木保氏。
- ④市民講座▽定員50人▽日程：毎月第4月曜日午後2時〜4時(10回)▽受講料：無料500円▽講座：4月25日「200カインリ時代と日本人の食生活」朝日新聞社事業開発室幹事 吉本光一氏。
- ⑤暮らしを楽しくする版画教室▽定員25人▽日程：4月28日以降
- 5月12日以降毎週木曜日午後2時〜4時(5回)▽受講料：300円▽講師：日本モンキーセンター所長 宮地伝三郎氏ほか。
- ⑥文化伝統講座「手づくりの暮らし」▽定員50人▽日程：5月14日以降毎週土曜日午前10時〜11時30分(6回)▽受講料：500円▽講師：甲南大学教授 和田邦平氏ほか。
- ⑦福祉講座「ボランティア活動の糧として」▽定員50人▽日程：5月9日から4回(午後2時〜4時)▽受講料：300円▽講師：精華短大教授 野上芳彦氏、同志社大学教授 小倉義二氏。
- ⑧おかあさんのための育児教室▽定員40人▽日程：5月13日、11月11日の2回(午前10時〜11時30分)▽受講料：1500円(託児保険料別)▽託児対象：昭和48年4月2日より49年4月1日生まれの幼児30人▽講師：追手門学院大学教授 中村秀氏ほか▽なお、この講座に限り、ハガキでの申込み受付はやっておりません。

公民館春の講座

にご参加
ください

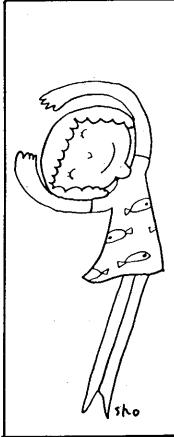
- 対象：市内在住の在学成人
- 会場：市民センター
- 申込み：4月13日(水)午前10時から市民センターで。またはハガキ(住所・氏名・年齢・電話番号・希望講座名)を市民センター教育事業係(業平町8-24 ☎④4995)まで。
- 講座内容：①名曲ア・ラ・カルトレコードコンサートでだんらんを。▽定員60人▽日程：毎月第3金曜日午後6時30分(10回)▽会場：音楽室▽参加費：500円▽解説：内崎以佐味氏(音楽評論家)▽開講日：4月22日(金)「花にちなんだ曲特集」。
- ②自然科学講座「私たちのくらしと自然」▽定員50人▽日程：5月12日以降毎週木曜日午後2時〜4時(5回)▽受講料：300円▽講師：日本モンキーセンター所長 宮地伝三郎氏ほか。
- ③時事講座「アジアを考える基礎知識」▽アジアの宗教と文化を視点として▽定員50人▽日程：毎月第3水曜日午後2時〜4時(10回)▽受講料：500円▽講座：4月20日「王朝と仏教の国タイの僧院生活から」(仮題)大阪大学助教授 青木保氏。
- ④市民講座▽定員50人▽日程：毎月第4月曜日午後2時〜4時(10回)▽受講料：無料500円▽講座：4月25日「200カインリ時代と日本人の食生活」朝日新聞社事業開発室幹事 吉本光一氏。
- ⑤暮らしを楽しくする版画教室▽定員25人▽日程：4月28日以降
- 5月12日以降毎週木曜日午後2時〜4時(5回)▽受講料：300円▽講師：日本モンキーセンター所長 宮地伝三郎氏ほか。
- ⑥文化伝統講座「手づくりの暮らし」▽定員50人▽日程：5月14日以降毎週土曜日午前10時〜11時30分(6回)▽受講料：500円▽講師：甲南大学教授 和田邦平氏ほか。
- ⑦福祉講座「ボランティア活動の糧として」▽定員50人▽日程：5月9日から4回(午後2時〜4時)▽受講料：300円▽講師：精華短大教授 野上芳彦氏、同志社大学教授 小倉義二氏。
- ⑧おかあさんのための育児教室▽定員40人▽日程：5月13日、11月11日の2回(午前10時〜11時30分)▽受講料：1500円(託児保険料別)▽託児対象：昭和48年4月2日より49年4月1日生まれの幼児30人▽講師：追手門学院大学教授 中村秀氏ほか▽なお、この講座に限り、ハガキでの申込み受付はやっておりません。

短 信

<4月>

- ★入学式・入園式 市立高校9日、中学校8日、小学校9日、幼稚園12日
- ★始業式 市立高校8日、中学校7日、小学校7日、幼稚園11日

健康



予防接種の年間計画

予防接種には、定期的なもの(二種混合1・2期、小児マヒ、ジフテリア3期)と臨時的なもの(日本脳炎、インフルエンザ)があります。

今まで実施してきた「種痘」は伝染病がまん延すると予想されるとき以外は実施しません。

小学校入学前のジフテリアは、接種しなくてもよくなりました。

それ以外の予防接種については次のとおり実施しますので、おまじがいのないようお受けください。

●二種混合(ジフテリア・破傷風) 1期：生後12か月から始め、4〜6週間おきに3回。2期：1期終了後12〜18か月の間に1回。計4回の接種を48か月までに終了。

●ジフテリア3期：12才に達する日の属する年度(小学校6年生)に接種。今年度は市内予防接種受託医療機関で9月実施(予定)。

●集団接種 ツベルクリン反応・BCG接種 満4才に達するまでに1回接種。ツ反注射：毎月第4土曜10時

11時30分 BCG接種：ツ反接種2日後の月曜13時30分〜15時 会場はいずれも健康センター。

●実施期日の変更は市広報で連絡 ●ポリオ(小児マヒ)：生後3〜18か月の間、6か月おきに2回、48か月までに2回終了。

●市内4会場(幼稚園、健康センター)で、5月・11月に実施。対象者にはハガキで通知。

●日本脳炎：満3〜15才までの希望者対象。基礎免疫(初回免疫)：7〜14日の間隔で2回。(追加免疫)：初回免疫後翌年1回接種。基礎免疫後は1〜3年毎に1回。

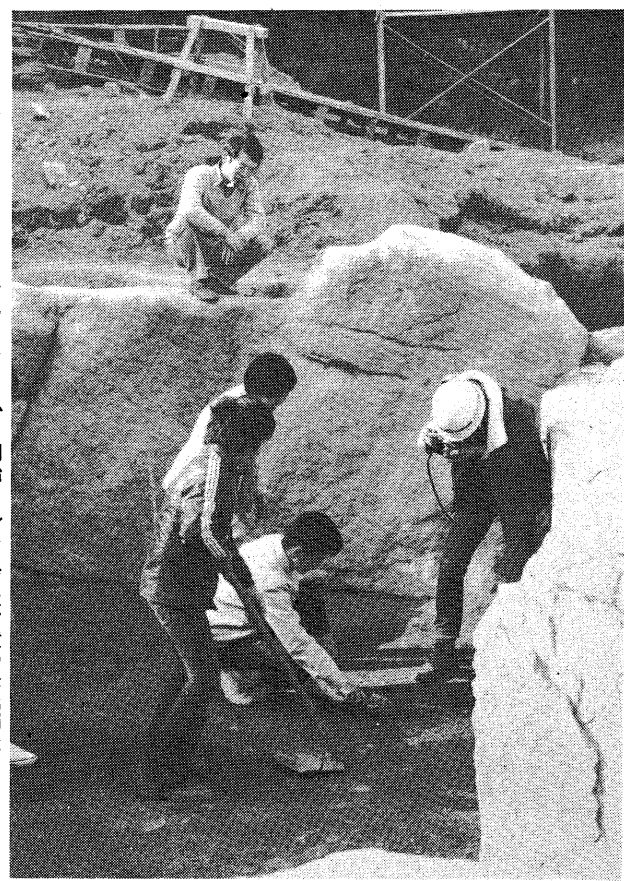
●実施は 6月〜7月中旬にかけて、市内4会場と学校園で。ワクは、対象になる児童・生徒などを通じて連絡。

●インフルエンザ：満3才〜15才までの希望者。1〜2週間の間隔で2回接種。実施は、10月〜12月中旬まで、市内4会場と学校園で。ワクは、対象児童・生徒を通じて連絡。

●市内予防接種受託医療機関 ●岡医院(岩園町) ☎0401 ●筋師医院(岩園町) ☎0627 ●松葉医院(翠ヶ丘町) ☎164 ●興醫院(親王塚町) ☎225 ●芦屋病院(朝日ヶ丘町) ☎2156 ●大林小児科(大原町) ☎3221

●伊藤病院(大原町) ☎4040 ●白井小児科(東芦屋町) ☎0445 ●本吉医院(東芦屋町) ☎5036 ●宮本小児科(松ノ内町) ☎3274 ●甲陽病院(松ノ内町) ☎003 ●小泉小児科医院(西山町) ☎3014 ●重信光医院(西山町) ☎2480 ●鈴木木医院(西山町) ☎2701 ●武藤小児科(月町) ☎3826 ●齊藤医院(津知町) ☎2234 ●山下医院(川西町) ☎5124 ●富永医院(公光町) ☎3823 ●山岡小児科(公光町) ☎3791 ●北岡医院(大槻町) ☎3414 ●中村医院(精道町) ☎468 ●富代医院(精道町) ☎5511 ●岡崎医院(宮塚町) ☎0700 ●平岡医院(打出小) ☎3888 ●多田医院(打出小) ☎3884 ●幸原医院(南宮町) ☎0338 ●重信(守)医院(西蔵町) ☎0329 ●都世子医院(浜町) ☎4624 ●平林医院(浜町) ☎3548 ●富永医院(若宮町) ☎6828 ●山田医院(南宮町) ☎9351 ●坂東診療所(松ノ内町) ☎333

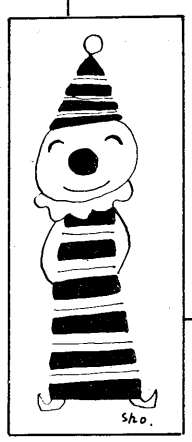
ことし3月から開始された山芦屋古墳の発掘調査にも協力



会と催し

ルナ・ホール

4月6日9時・13時：交通安



犬猫の去勢・避妊

昭和52年4月1日から、みだしの手術料金が改訂されました。去勢：8000円(市3000円、獣医師会2000円、飼主3000円負担)

犬の登録と狂犬病予防注射

狂犬病予防法により、生後3か月以上の飼犬は、年1回の登録と年2回の狂犬病の予防注射を受けなければいけません。

不要愛がん動物の引取料金改訂

生後2週間以内の小犬・小猫の引取手数料が3匹まで300円、1匹増すごとに100円増になります。

読書会へのお誘い

「伊勢物語」紙魚くらぶ読書会：4月12日(火)10時〜12時(毎月第2火曜日)に図書館集会所で。参加費無料。

赤十字増強運動

日本赤十字社は、一定の社資を納める社員によって組織され、5月31日まで社員増強運動が実施されます。

狂犬病予防注射日程表

Table with columns for date, day, and location for rabies vaccination. Includes dates from April 11th to 25th and various locations like 三条南町 and 打出保育所.

おとしよりの職業 あつ旋いただきます

市内にお住まいの60才以上のかたで、再就職を希望されるかたは、「高令者無料職業紹介巡回相談所」をご利用ください。

犬の交換会を再開

日時：4月23日(土)10時〜12時(10月まで、毎月第4土曜 日午前中)

電気無料相談

日時：4月9日(土)雨天中止 10時30分〜12時

防犯放送案内

「こんにはは異警です」...土・日曜を除く毎日12時5分〜10分、サンテレビ「リビングクォーター」

泉フラワーセンター

「花家族の会」会員募集 特典：センターに無料入園、花の講習会参加、機関誌配布

総理府主催青年海外派遣等団員募集

青年の船・青年海外派遣(満20才以上26才未満)、東南アジア青年の船(満18才以上30才以下)への参加者を募集します。

芦の芽グループ

昭和39年4月、山手中学校O日を中心に発足。歴史研究団体として活躍。会員35人。

芦屋市民文化祭参加 団体・グループ募集

今秋10月20日から11月20日まで

点字実技講習会

日時：5月7日(土)10時〜12時 場所：図書館会議室 指導：大野加久二先生

図書館ごもお話し会

とき：4月30日(土)14時〜15時 14時〜15時30分 2年生まで 14時30分〜15時 3年生以上

佐藤陽子ヴァイオリンコンサート

とき：4月9日(土)18時30分 ところ：ルナ・ホール 料金：前売1500円 当日1800円

爆笑・フレッシュ寄席

とき：4月10日(日)14時 ところ：ルナ・ホール 料金：前売1000円 当日1300円